

寺報

No.589

平成28年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

小乗經と申す經は世間の小船のごとく、わづかに人の二人三人等は乗すれども、百千人は乗せず。設い、二人三人等は乗すれども、此岸につけて、彼岸へは行きがたし。

『乙御前御消息』



(解説)

仏の道をめざし、歩む為の乗り物を仏乗といいますが、自分だけが良ければいいという利己主義を通す小乗仏教では、とても多くの人々を救う事は出来ません。多くの新興宗教の教義などは、まさしくこの小乗の教えといえるでしょう。

この世に終わりが来て、地球も壊滅状態になる時その教団の教えを信じたものだけが救われ、また生まれ変わる事が出来るといふ教え、これはまさに独善主義の小さな乗り物としかいえません。

法華經の教えは大乗、例えいかなる事が起きようとも、このお経を信じる信じないに関わらず、この世の総ての人々を救う事が目的なのであります。

一般に、此岸は現実の人間社会、彼岸は理想の清浄なる世界をいうのですが、日蓮大聖人はこれを分け隔てる事なく、此岸を彼岸にするように、我々自身を精進する事こそ、法華經の精神に添うものであると教えられたのです。

どうか皆様も、常にこの法華經で説かれた大乗の心をお持ちになり、世の中の迷える多くの人々を救つてあげるようにしましょう。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月十九日(月)・二十一日(木)・二十五日(日)

場所…小本堂

*法要

午前八時より午前九時まで

*法話

約十分間

十九日	序品第一・方便品第二・ 欲令衆	法話
二十二日	提婆達多品第十二	住職上人
二十五日	如来神力品第二十一	壇上人

⑨『秋彼岸会』の法要は三日間ですが、ご先祖と仏様のご供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈(僧侶が唱えます)
- 一、勧請(導師が唱えます)
- 一、開経偈(無上甚深)
- 一、お経(日程表をご覧下さい・日本語読み)
- 一、運想(唱え奉る妙法は)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈(此經難持)
- 一、回向(導師が唱えます)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、お経(如来寿量品第十六・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、付回向(導師が唱えます)
- 一、四誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱
- 法話・・・約十分間

⑩お経は要品の訓読(日本語読み)ですので、お経本はお寺でお求め下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしてありますお骨の前に一週間上がります。なお、「彼岸入り」以降のお申込みも受け付けますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申込み下さい。

檀信徒研修会

檀信徒研修会のお知らせ

九月二十八日(水)

『聖典の読誦と唱題行』

担当・・・住職上人

☆聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

⑪今月は行事の関係から水曜日になります。
*お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂(イスや安座にて結構です)

持参品…聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を心からお唱えしましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

大切なお題目受持

【青森工業高校】担ぎねぶた

『蓮華寺の蛙合戦』が出陣！



今年度の【青森工業高校】の担ぎねぶたに、当山に伝わる『蛙合戦』が題材となり登場しました。「江戸時代の天保十三年（一八四二）の六月、蓮華寺の境内に沢山のカエルが集まって来てとても騒がしかった。その声は町中に響き渡り、それを見物に多く

の人がやって来たという。時刻は暮れ六つ（午後六時頃）になった頃、番神堂（今の稲荷堂）の池からひと倍大きなカエルが出て来て、まるで宣戦布告するように声高らかにギャーロギャーロと鳴いた。すると、境内の外の蓮池からもひととき大きなカエルが出て来てにらみ合いの末、同じくギャーロギャーロと一声を上げたという。この声を合図に、両方の池からおびただしい数の兵隊ガエルが集まり、互いに負けてはならずと鳴き始めた。しかし、最初は鳴き合戦だったのが、次第に戦意が高まり激しいつかみ合い、かみ合いの戦いとなったが、一時（二時間）も過ぎた後に、二匹の大将ガエルが大きな声で鳴くと、いったん休戦誓言をしたのか、各々各池に引き帰ったという。このような大合戦はおよそ一週間程続き、どちらが勝利したか定かではないが、やがて、境内は何事もなかったように元の静けさを取り戻した。」
この伝説を元に、工業高校の生徒さんが素晴らしい発想力をいかしまして、ねぶたを作成され運行された事は、当山に於きましても大変喜ばしく、感謝にたえません。
誠に有り難うございました。

さい じょう いな り たい さい
最 上 稻 荷 大 祭

九月二十二日（木）

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という言葉は元々稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となりました。



- * 御祈願・・・八百円
- * 御法楽・・・八百円
- * 御神体御法楽・千円

◎「御祈願・御法楽」をお申込みの方に『お札』を差し上げます。
◎御神酒・お供物も受付けます。
㊦今年度はお彼岸の中日と日程が重なりますが、予定通り行事は行います。

九月の行事

- 一 日(木)『盛運祈願会』 午後一時より
 - ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
 - ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
 - ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 - ・ 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



十三日(火)『日蓮大聖人ご報恩会』 午後一時より
 ・ お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
 (如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
 ・ 皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し
 一緒にお経・お題目を唱えましょう。

『秋彼岸会』(三日間) 十九日(月)・二十一日(木)・二十三日(日)

【法 要】午前八時より
 ⑤『秋彼岸会』の行事は、三日間です。ご参拝は
 日程表をお確かめの上、お願い致します。

二十二日(木)『最上稲荷大祭』 午後一時より

二十八日(水)檀信徒研修会『唱題行』午後七時より
⑥どなた様でもご自由に参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

十九日(月)・二十五日(日)迄一週間

⑦『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝(午前六時)七時半頃迄、夕(午後三時)五時頃迄ですので、お手伝い出来ます方は時間までにご集合下さい。
 お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出下さい。

二十二日(木)『最上稲荷大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より
 教宣部女性 昼十二時より
 *テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

④各役員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、九月二十一日(木)の中日の午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。
 時間は三十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。
 日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。
 なお宗旨・宗派は問いません。 ☎776-5840
 【ご相談料は一件につき二千円です】

『位牌壇』募集中!

- ★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。
- ★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。
- ★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。
- ★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。
- ★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。
 その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムス】・寺報等の援助などに活用します。
 会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

あき ひ がん え
秋 彼 岸 会

十九日(月)・二十二日(木)
 二十五日(日)の三日間

於：小本堂

法 要 午前八時～九時まで

- * 『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。
 残り四日間のご供養は「朝のお勤め」で拝みます。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位 800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂 3,500円

* 法要に参列し、お経・お題目を唱えましょう！